



学園だより

This Student Information Booklet contains a variety of useful information for Nagoya University students, including on-campus news as well as extracurricular activities.

vol.168

2016.7

CONTENTS

コラム / 名大祭 / 体育大会 / クラブ活動
教育推進部の窓 / トピックス / 災害対策 / 伝言板

COLUMN

好奇心の発揚と実践 —ダ・ビンチの贈り物

理事・副総長 松下 裕秀

5月末から一週間、フランスのパリ南部約100キロのオルレアン大学に滞在する機会を得た。オルレアンは、人類女性史上最も勇敢で最も悲惨な最期を遂げたジャンヌ・ダルク (Jeanne d'Arc) 縁の地である。滞在中は、運悪くこの季節としては100年に一度の大雨に見舞われ、雨と洪水に閉じ込められた。私が予定したパリでの研究交流はキャンセルを余儀なくされ、ルーブル美術館も水害を回避するために臨時休業したほどである。この悪環境の中で、学術交流はかろうじて予定した通りに進めることができ、今後の共同研究に繋がる見通しであるが、1週間の中で週末の半日だけ、洪水を避けながら当地に比較的近いロワール川沿いの古城群のひとつであるアンボワーズ (Amboise) 城の脇にあるクロ・リュセ城 (Château du Clos Lucé) に連れて行ってもらった。ここはフランソワ1世の元居所で、この王に招かれた晩年のレオナルド・ダ・ビンチが亡くなるまでの3年ほどを過ごした場所である。現在では、ダ・ビンチが次から次へと行った創作活動を室内外に展示する文化空間にもなっていて、フランス内外から多くの観光客が訪れるようである。屋外のカルチャーパークでは、二重らせんを利用した水汲み上げ用のポンプや、おそらく人類初の発想であるプロペラ機が名高いので、ご存じの方もいよう。展示館内には、彼の画家としての代表作「モナリザ」の複製も掛かっていた。この世界の名品は、丁度500年前の1516年にダ・ビンチがここに移った時に持参したとされ、イタリア・ルネッサンスを代表するアーティストの画がなぜ現在フランスに存在するのか、納得できる場でもある。ここでは、彼の創作意欲とあくなき探求心にただただ圧倒されるばかりである。人類史上最高級の芸術家・創作家であり万能人と称されるダ・ビンチを我々と比較するつもりは到底ないが、進歩や発展は好奇心の発揚とそれを果たそうとする実践が不可欠であることを思い知った旅であった。ともすれば社会に閉塞感が漂う昨今の風潮は何とか吹き飛ばしたい。特に若さというかけがえのない武器をもった諸君には、粗削りでも良いから貪欲に果敢に新しい事に挑む「勇気を伴った好奇心」を持ち続ける人生を送って頂きたいと強く望んでいる。

名大祭

第57回名大祭「その躍動、無限大」が開催される

第57回名大祭が6月2日(木)午後から6月5日(日)までの3.5日間、「その躍動、無限大」をテーマに東山キャンパスで開催されました。今年のテーマには、普段研究室やサークルでの活動で蓄え内に秘めたエネルギーを、この名大祭で躍動へと変えて欲しいという思い、そして、その躍動をたくさんの人々に感じてもらいたいという思いが込められています。

名大祭開催に先立ち、5月15日(日)には名大祭のプレ企画として恒例の「仮装行列」が白川公園と栄周辺で行われ、参加した学部1年生がクラスごとに仮装し、栄の街を練り歩きました。

名大祭初日となる2日(木)は、授業が終わった名大生が第2グリーンベルトに設置されたステージ付近で足を止める姿が多く見られ、多くの学生が名大祭の開催を全身で感じていました。夜に行われた「当夜祭」のダンスコンテストでは各チームから多様なジャンルのダンスが披露され、初日の夜を盛り上げました。

3日(金)は5年ぶりの晴天となり、学内各所でここ数年とは雰囲気違った賑わいが見られました。特に近隣町内会の方々との協力のもと、第3グリーンベルトにやぐらを組んで行われた「盆踊り」は、本学学生のみならず、お子様連れのご家族や友達と遊びに来た小学生なども多く見受けられ、学生と地域の方々との交流が盛んに行われる場となりました。

4日(土)、5日(日)は北側メインストリートに飲食物を扱う模擬店が並び、千種保健所の助言を得た厳しい衛生管理体制のもと、34団体の学生等による活気ある呼び込みで大いに賑わいました。

今年度の学術講演企画は休日2日間にわたって行われ、4日には本学素粒子宇宙起源研究機構長の益川敏英特別教授と野尻伸一教授の2名により、対談形式にて『物理学者の夢見る世界～世界は素粒子で満ちている！～』というテーマに沿って講演が行われました。立ち見が出るほどの盛況を見せ、多くの来場者が普段触れることのない物理の世界に触れられる、わかりやすい講演となりました。5日には本学環境学研究所の山岡耕春教授により、『地震のなぜ？ナニ？～いつくるの？南海トラフ地震～』というテーマに沿って、今年度発生した熊本地震の話題を絡めた講演が行われました。

その他にも様々な企画が学内各所で行われ、特にメインステージで行われたよさこいやダンスなどのパフォーマンスは多くの来場者を魅了し、発表者自身も来場者と共に楽しむ姿が見受けられました。また、開催期間中の第1グリーンベルト芝生には全学同窓会支援事業に採択・支援いただいたLEDイルミネーション装飾が施され、名大祭の夜を彩りました。

最終日となる5日の夜には、第57回名大祭を締めくくる「後夜祭」がメインステージで行われ、冒頭では迫力の和太鼓の演奏が来場者を引き込み、来場者参加型の企画が行われた後、恒例の火舞パフォーマンスが最後の時を盛り上げ、その火が消えるとともに今年の名大祭の幕が閉じました。

今年度は推計8万人の人々が来場し、多くの学生による様々な無限大の躍動を感じられる名大祭となりました。



「第57回名大祭を終えて」



6月2日(木)午後～5日(日)にわたり、名古屋大学東山キャンパス全域で第57回名大祭が行われました。今年度の名大祭は日曜日の午前中はあいにくの雨に見舞われましたが、それ以外の日程では全て晴れとなり、金曜日に関しては5年ぶりに晴れて開催することができました。天候に恵まれたこともあり、例年より5千名ほど来場者が増え、今年度は約8万人の人々に足を運んでいただきました。

「最近の若者は静かだ」「積極性がない」、そんな言葉を私はよく耳にしてきました。果たして本当にそうなのでしょうか。過去に比べれば、いわゆる「学生運動」と言われる動きは減っているように思います。しかし、過去とは違った形であろうとも、今も変わらず学生一人一人がそれぞれのステージで夢中になれる“何か”に没頭しているはず。その“何か”が掴めない学生も多くいるでしょう。それぞれが持つその“何か”を多くの人々に伝え、その“何か”をより多くの人々に受け取ってもらえる。そして、そこから“何か”を見出せる。名大祭がそんな場になること。そして名大祭での出来事やそれまでの過程が多くの人の心に残り、受け継がれること。それが私が名大祭でやり遂げたい大きな目標であり、それこそが名大祭を開催する意義であったと思います。

1年間、委員長という立場に立たせていただき感じたこと。それは57年間の「重み」でした。先輩方が積み重ねてきたもの。地域の方々、教職員など各方面での関係者の方々、名大祭に関わる全ての方々の協力の積み重ね。その「重み」を感じさせていただきました。今年度の名大祭につきましても、実行委員のメンバーはもちろん、本当に多くの方々のご協力があり、無事終えることができましたことを改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

名大祭の歴史はまだまだ終わりません。今年度の名大祭を終えて反省点や改善すべき点は多々ありますが、後輩たちがより良い名大祭を作り上げてくれることに期待し、引き継いでいきます。

これからも名大祭の持つ「重み」はさらに深く、大きくなっていきます。それと同時にさらなる躍動を見せてくれるはず。その躍動が無限大へと拡大していき、そして多くの人々に暖かく見守っていただければ幸いです。どうか第58回名大祭にもご期待ください。

第57回名大祭本部実行委員会 委員長 池上幸佑



教育推進部の窓

海外留学について

留学情報の提供&相談窓口として、国際棟(旧留学生センター)1階に「海外留学室」を設置していますので気軽に利用してください。

海外留学のサポート体制

海外留学室のサポート

海外留学入門セミナー・・・毎週火曜日 12:15～12:45 国際棟(旧留学生センター)1F 海外留学室にて開催 予約不要

海外留学を実現するための最初の一步として、留学担当教員が留学プログラムの概要や選考の流れ、必要な語学レベルと成績、単位、奨学金、留学計画のヒントなどについてご説明をしますので、気軽に参加してください。

- 海外留学情報の提供(ホームページ、facebook、メーリングリスト、図書貸出)
- 説明会(交換留学、短期研修プログラムなど)、英語を含む留学準備講座、セミナーなどの開催
- 個別相談(予約制/専任教員が担当)
- 留学出願手続きのサポート

名大の主な留学プログラム

協定校への「交換留学」は応募から渡航まで半年以上かかるため、長期計画で臨む必要があります。一方「短期研修プログラム」は準備期間が短く、語学条件なども緩やかなため、交換留学前のお試し留学として利用する学生が多くいます。欧米以外の大学であっても、英語で講義を受けることのできる大学もありますので、相談に来てください。

- 名古屋大学協定校への交換留学(原則1年間。1学期間も可能)
世界52カ国約180校以上
- 名古屋大学協定校(全学)への短期研修プログラム(2週間～1ヵ月程度) ※下記は一例です。
英語研修(モナシユ大/豪州、ノースカロライナ州立大/米国、フライブルク大/ドイツ、エジンバラ大/イギリス)、
英語講義の受講(ガジャマダ大学/インドネシア、慶熙大/韓国、香港大/中国、ジュネーブ大/スイス)
中国語研修(同済大/中国、国立台湾大/台湾、国立中正大/台湾、復旦大/中国)
韓国語研修(梨花女子大、慶熙大、漢陽大、延世大、)
独語研修(フライブルク大)、仏語研修(ストラスブール大)、その他研修(ウズベキスタン、タイ)

海外渡航について

海外へ渡航する際の届出について

海外へ渡航する学生は、オンライン上でデータベースへの入力をする必要がありますので、渡航前に下記のデータベースにアクセスしてください。

1. データベース入力目的

海外で災害・テロ、感染症発生等の緊急事態が発生した際に、名古屋大学から該当地域へ渡航中の学生の安否確認を迅速に行うためのものです。

2. データベースへの入力方法

以下のURLにアクセスし、名古屋大学IDとパスワードを入力してログインし、案内に従って入力してください。

<https://intl.iee.nagoya-u.ac.jp/tokou/>

※下記からもアクセスできます。

名古屋大学HPトップ画面→学内専用→学生向け→名古屋大学ポータルにログイン→学務または国際活動→海外へ渡航する際の届出について

3. データベースに入力するメリット

データベースに入力することにより、「海外渡航届」、「留学願」、「海外渡航(留学)中の連絡先(緊急連絡用)」の届出様式をデータベース上からダウンロードすることが可能となり、届出様式に記入する手間が省略できます。

またオンライン入力なので、渡航先を含む学外からもアクセスが可能です。

海外渡航データベースについての照会先 / ■届出書類に関すること:

▶所属学部・大学院の教務担当部署

■データベースへの入力に関すること:

▶教育推進部 学生交流課

E-mail: tokoudb@adm.nagoya-u.ac.jp

教育推進部の窓

学生相談総合センター案内

学生相談総合センターには、臨床心理士による学生相談、精神科医によるメンタルヘルス相談、キャリアカウンセラーによる就職相談、そして障害者支援の専門家による障害学生支援の4つのセクションがあります。

長い学生生活の中では、学業、友人や家族関係、恋愛、進路などに関する悩みや不安を抱くこともあるでしょう。毎日の生活の中から生じる悩みや課題と向き合うことは、自分自身について考

える良い契機にもなります。日常生活では悩みや課題にゆっくり取り組むゆとりをなかなか持ちにくいものです。そんな時に学生相談総合センターを利用してください。

学生相談総合センターは学部や研究科とは独立した組織です。プライバシーは守られますので、気軽に相談してください。保護者・家族の皆様からの相談も受け付けています。



相談の申し込み方法

- ①直接受付に行き申し込む ②電話で申し込む ③メールで申し込む



お問い合わせ・連絡先

<p>学生相談部門 052-789-5805 工学部7号館B棟2F 学生相談総合センター受付</p>	<p>メンタルヘルス部門 052-788-6276 保健管理室1階 受付</p>	<p>就職相談部門 052-789-2176 工学部7号館B棟2F 学生支援課 就職支援室</p>	<p>障害学生支援室 052-789-4756 工学部7号館B棟2F 障害学生支援室</p>
-----------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------

学生相談総合センター
受付：平日10：00～17：00（祝日を除く）
URL：http://gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp/
E-mail：soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp
osd@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp（障害学生支援室）

学生相談総合センターでは専任相談員のほかに、各分野に精通した兼任相談員も皆さんをサポートしています。
詳しくは、「学生便覧」、「学生相談総合センターだより」、「学生相談総合センターホームページ」をご参照ください。



Peer Support

「ピア・サポート」とは「ピア（仲間）」同士で助け合うことです。学生相談総合センターには、3つのピア・サポート制度があり、学生たち自身が主体的に助け合う体制が整備されています。相談したいあなたも、サポーターとして活動したいあなたも、お気軽にご連絡ください。(E-mail :soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp)

学生生活について

困ったことがあったら、相談に来てください。
場所：中央図書館2F ピアサポブース
時間：水曜日12～16時（長期休暇期間除く）



就職活動について

進路の決まった頼りになる先輩たちが、あなたの就活応援します。
就職の決まったみなさん、サポーター活動してみませんか
場所：工学部7号館B棟2F 就職支援室



障害学生支援について

障害学生支援の活動をしています。
興味がある人、ちょっと気になる人は、連絡を！！
場所：工学部7号館B棟2F 障害学生支援室



学生会館の利用状況

教育推進部学生交流課

学生会館は、本学東山地区の北端（北部厚生会館の北隣）にあり、学生の課外活動、自治活動等に利用できる施設です。館内には集会室、和室、談話室及び理容室があります。集会室は9室（50名用2室、30名用2室、25名用2室、20名用2室、15名用1室）、和室は2室あり、これらは主としてサークル団体が課外活動に利用しています。談話室は学生が授業外の時間等に利用できるコーナーで、休憩をとったり、囲碁や将棋を楽しむことができます。

平成27年度においては、年間359日開館され、集会室及び和室の利用件数は3,597件（1日平均10.0件）、利用者数は116,385人（1日平均324.2人）となっています。



平成27年度月別利用状況

年	月	開館日数	利用件数	利用者数			
				学生	教職員	計	
27	4	30	322	10,732		10,732	
	5	31	331	10,784		10,784	
	6	30	257	9,428		9,428	
	7	30	296	10,285		10,285	
	8	31	319	9,569		9,569	
	9	30	295	10,423		10,423	
	10	31	316	10,768		10,768	
	11	30	309	10,948		10,948	
	12	28	273	8,523	8	8,531	
	28	1	28	269	8,043		8,043
		2	29	300	8,236		8,236
		3	31	310	8,638		8,638
計		359	3,597	116,377	8	116,385	

平成27年度曜日別利用件数



中津川研修センターの利用状況

教育推進部学生交流課

この施設は、東海地区国立大学の共同利用施設として、学外における演習・実習・課外教育等を通じて、学生・教職員間の、さらには大学間の交流を図り、学生の人間形成に資することを目的として設置されています。

研修センターのある岐阜県中津川市の苗木地区は、旧苗木藩の城下町として知られる風光明媚な地域です。近くには中津川市鉱物博物館、恵那峡県立公園等が、少し足をのばせば、旧中山道沿いに鳥崎藤村記念館、馬籠・妻籠等の旧宿場があります。

同センターは5人以上の団体が4泊5日以内の研修計画を立てれば、誰でも気軽に利用できます。平成27年度には、37団体、延3,576名（実人数1,366名）の利用がありました。

宿泊室には和室と洋室があり、一部洋室には大型ベッドを配置しています。また液晶プロジェクタや無線LANによるインターネット接続を利用することができます。

利用についての詳細は、教育推進部学生交流課（052-789-2165）にお問い合わせください。

施設の概要

- ◆ 研修棟（面積：1,348m²）
 - ・大研修室（100人収容）
 - ・中研修室（50人収容、2室分割可）
 - ・宿泊室（和室7室）（5人×2室、4人×5室）
洋室5室（3人×3室、8人×2室）
- ◆ 体育館（面積：1,348m²）



平成27年度大学別利用団体数

大学名等	団体数	%
名古屋大学	28	76
名古屋工業大学	0	0
愛知教育大学	0	0
豊橋技術科学大学	0	0
岐阜大学	0	0
三重大学	1	3
静岡大学	3	8
浜松医科大学	0	0
東海地区外国立大学	0	0
公・私立大学	0	0
その他（高専地域団体等）	5	13
計	37	100

平成27年度利用状況

区分	利用者数(人)	%
学生	1,266 (462)	35
教職員	421 (158)	12
その他	1,889 (915)	53
計	3,576 (1,535)	100

注：延べ利用者数を示す。
（ ）内は女子の内数。

教育推進部の窓

就職支援室及び就職相談室の利用案内

教育推進部学生支援課

就職支援室（工学部7号館B棟2F学生支援課）

◆ 就職支援室について

就職支援室では、就職活動に役立つ情報を提供し、年間を通じて進路探索活動を支援しています。積極的に活用してください。

◆ 窓口での相談対応を行っています。（予約不要）

就職支援室窓口では、職員が就職相談（エントリーシート等の相談含む）に対応しています。

※文章の内容確認の場合は、プリントアウトして持参下さい。

窓口対応のため、予約は不要ですが、混みあうことがありますので、時間的余裕をもって来室して下さい。

◆ 就職支援室で利用できるツール1【閲覧・貸出編】

◆ 学部・研究科別 就職先一覧

平成20年以降の全名古屋大学卒業・修了生の全就職先と各就職人数が、学部・研究科別、年度別に記載されています。どの企業・団体に、どの年度に何人先輩が就職しているかがわかります。

◆ 先輩の就活レポート

「選考の流れは？」「一次面接ではどんなことを聞かれた？」など、企業・団体別に、内定に至るまでの就職活動の詳細について、先輩が残してくれたレポートです。

※もちろん、国家公務員・地方公務員に進んだ先輩のレポートもあります。

◆ 求人票・会社説明会案内・会社案内

名古屋大学生を積極的に採用したいと考えている企業・団体が、来訪又は郵送にて届けてくださった求人情報を設置しています。就職支援室には、毎年、約3000件の求人票が届きます。国（各省庁）・各自治体からの情報も届いています。

◆ OB・OG名簿 ※閲覧には学生証が必要です。

◆ インターンシップ開催情報



◆ 就職活動に役立つ書籍が250冊以上！（一部を除き貸出可能です。）

民間企業、公務員、教員にかかわらず、就職活動に役立つ書籍が多数あります。

◆ 国家公務員・地方公務員採用試験過去問題集（一部を除き貸出可能）

◆ 新聞・経済誌を複数種類設置しています。

◆ 業界研究セミナー、就職ガイダンスなど、過去就職支援室で開催したイベントのDVDを貸し出しています。



◆ 就職支援室で利用できるツール2【掲示物編】

就職支援室の壁面には、様々な情報が掲示されています！

- ◆ 各企業、団体、国・地方機関の説明会開催情報
- ◆ 就職支援室主催のイベント開催情報
- ◆ 学外で開催される就職関連イベント情報
- ◆ インターンシップ関連イベント情報



◆ 就職支援室で利用できるツール3【キャリアインサイト】

「キャリアインサイト」=パソコンによる職業診断システムです。自己理解が職業適性を知るきっかけとなります。

受検後は、就職相談員の面談をうけることで自己分析のヒントとして利用できます。

就職相談室（工学部7号館B棟2F 学生相談総合センター）

◆ 就職相談室について

工学部7号館就職支援室に隣接する就職相談室には、学生相談総合センター就職相談部門の専任相談員（キャリアカウンセラー）が2名常駐し、学生の皆さんの進路や就職に関する相談に応じています。

◆ 相談対応

就職活動期だけではなく、年間を通じて相談対応しています。就職活動への意識が高まりだす冬休みや、教員や公務員試験が本格化する夏休みにも就職支援室同様に多くの就職活動生が利用しています。

相談は一人30～50分、個別相談体制です。落ち着いた雰囲気の中じっくり時間をかけることで、自分についてや社会についての理解を深めたり、疑問や不安の元になっているものを一緒に解決できる場となっています。

◆ 対象学年

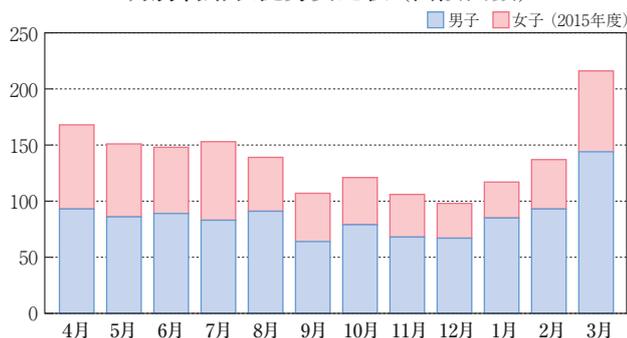
就職活動期にある3年・4年生やM1・M2生だけではなく、これからの進路について興味や関心、疑問や不安がでてきた低学年の学生やドクター・研究生などさまざまな学年の学生が利用しています。

◆ 相談内容

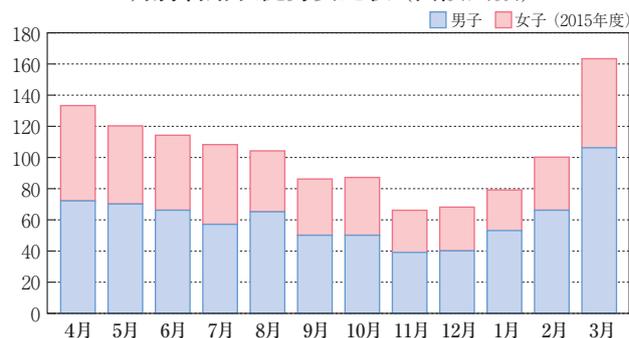
具体的な就職活動期には、自己分析や業界・企業選択について、エントリーシートや面接や筆記試験など選考についての相談が多く寄せられます。最近では、インターンシップに関する相談も増えています。就職活動が終盤になってきても、内定に関する相談や、決断をどう下すか、周囲の意見との相違や、進学か就職か、公務員か民間企業かなど、あらゆる時期にさまざまな相談が寄せられています。一見同じ相談にみえても、深く掘り下げていくと一人ひとり相談内容もその後の選択も異なります。

学生のみならずには学年・時期を問わず、自分の進路選択に真剣に取り組み、就職相談室を利用することで、疑問や不安を自信にかえていくことができるよう期待しています。

月別利用状況男女比較（面談回数）



月別利用状況男女比較（面談人数）



◆ 開設日及び開設時間

毎週 月曜～金曜
時間 10時～17時まで
(夏季・冬季休業中も開設)

◆ 利用方法

30分か50分を選択して下さい。予約制をとっています。
直接予約：就職支援室カウンターにて随時予約を受け付けています。
電話予約：052-789-2176（就職支援室）平日8時30分～17時15分
※2週間先までの開設日・空き状況は名大HP→教育／キャンパスライフ
→就職関連情報→相談室利用案内で確認できます。
※メールでの予約の場合は、学生相談総合センターのアドレスまでメールしてください。
E-mail: soudan@gakuso.provost.nagoya-u.ac.jp



◆ 相談場所

学生相談総合センター内
就職相談室（就職支援室隣接）

就職支援室・就職相談室の連絡先



ホームページ
<http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/>



メールアドレス
s-shien.evententry@adm.nagoya-u.ac.jp



電話
052-789-2176

お気軽にお問い合わせください



教育推進部の窓

平成28年度 名古屋大学 全学対象就職ガイダンス等 今後の実施計画

○：学部4年、博士課程前期課程2年対象 △：学部3年、博士課程前期課程1年対象 ☆：全学年対象 ◇：インターンシップ参加学生対象 ◎：学部1年生、2年生対象

月	実施内容	詳細
8月	○ 教員採用試験 個人面接対策講座	教員採用試験面接官経験者から、実践的な教員試験面接を学ぶ
	○ 博士課程学生に対する合同企業説明会&選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業によるブース形式の説明会
	○ 第1回 学内合同企業選考会直前講座	合同企業選考会の利用の仕方、見所の解説
	○ 第1回 学内合同企業選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業による選考会
9月	○ 第2回 学内合同企業選考会直前講座	合同企業選考会の利用の仕方、見所の解説
	○ 第2回 学内合同企業選考会	業界を代表する企業及び地元優良企業による選考会
10月	☆ 第2回 キャリアプランニング講座	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
	☆ 第2回 就職ガイダンス	内定学生による報告、及び座談会(希望者)
	◇ 第3回 全学インターンシップ研修会	ワークやディスカッションを通してインターンシップの振り返りを行う
	☆ 業界研究セミナー(全8回程度)	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
11月	☆ 業界研究セミナー(全8回程度)	企業を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	☆ 教員就職ガイダンス	教員として求められる人材像及び採用試験制度の概要、先輩の体験発表及び懇談会等
	☆ 地方公務員就職ガイダンス	公務員として求められる人材像及び採用試験制度の概要
	☆ 公務研究セミナー	現職国家公務員が政策課題や仕事のやりがい等を語る
12月	☆ 業界研究セミナー(全8回程度)	企業3社を招き、業界について講演及びパネルディスカッションを行う
	☆ 第3回 就職ガイダンス	就職活動に向けて自己理解・自己分析を深める
	☆ 第4回 就職ガイダンス	面接のポイント解説と模擬面接
	☆ 社会人準備セミナー「知って得する労働法」	社会人になるために知っておきたい労働法の基礎的知識の説明
1月	☆ 第3回 キャリアプランニング講座	これまでの計画の実施状況を確認し、後期をどう過ごすか計画する
	☆ 内定者座談会	相談員による講演及び内定者との座談会
	☆ OB・OG座談会	企業で活躍するOB・OGを招き、職種研究やワークライフバランスについて理解する
	◎ 1・2年生のためのキャリアデザインセミナー	将来に向けて今大切なこと等の講演及び演習
2月	△ 企業研究セミナー事前ガイダンス	企業研究セミナーの利用の仕方、見所の解説
3月	△ 国家公務員総合職中央省庁セミナー	試験、採用手続きの説明及び各府省業務説明
	△ 国家公務員一般職・地方公務員等合同業務説明会	試験、採用手続きの説明及び各府省、地方公務員の業務説明
	△ 名古屋大学企業研究セミナー 2018	業界を代表する企業による企業研究セミナー

トピックス

平成27年度名古屋大学総長顕彰

本顕彰は、学問の研鑽や文化・社会活動等を通じて、「名古屋大学学術憲章」の目指す人物像「勇気ある知識人」を実践している学生を称えるために、平成15年度に創設されたものです。



平成27年度の募集は、ポスター、ホームページ及び名古屋大学駅電子掲示板等を通じて、平成27年12月4日(金)～平成28年1月28日(木)の期間に行われ、その結果、「学修への取り組み」部門に5件の学部推薦が、「正課外活動への取り組み」部門に自薦・他薦を合わせて10件の応募がありました。

これら合計15件の推薦・応募について、総長顕彰委員会による厳正な審査を経て、最終的に9名(団体代表を含む)の学生が選ばれ、卒業式終了後に行われた授与式にて、表彰されました。

授与式終了後の総長と受賞学生との懇談会では、和やかな雰囲気の中、総長から、学生に対する将来への激励があった後、関係教職員と受賞学生による活発な意見交換が行われました。



「学修への取り組み」部門(学部推薦)

- ◆ 栞原 風音 教育学部人間発達科学科4年
- ◆ 豊島 紗耶 経済学部経営学科4年
- ◆ 富永 遼佑 理学部物理学科4年
- ◆ 後藤 啓介 工学部機械・航空工学科4年
- ◆ 山本 啓仁 農学部資源生物科学科4年

「正課外活動への取り組み」部門(自薦・他薦)

- ◆ 石山 顕信(医学部医学科6年) / 本学への貢献活動・国際交流 医学部に国際交流サークルを設立し、留学生の交流を盛にするなど、留学促進活動に尽力したことが、本学への貢献活動として高く評価されたこと
- ◆ 就活サポーター(代表者：澤井佑樹 情報科学研究科計算機数理学専攻博士課程前期課程2年) / 本学への貢献活動・社会への貢献活動 本学の学生の進路支援のみならず、卒業生との交流イベントの開催、他大学の就職支援活動団体との活発な相互交流などが、本学への貢献のみならず、社会貢献活動としても高く評価されたこと
- ◆ 名古屋大学ねこサークル「なごねこ」(代表者：大西貴都 理学部地球惑星科学科2年) / 正課外活動(その他)・本学への貢献活動 東山キャンパス内の野良猫問題の解決に取り組み、本学の環境衛生の向上、猫の殺処分減少など、人間と動物が共生を図る面から大いに本学に貢献し、社会からも高く評価されたこと
- ◆ KagaQ(かがく)(代表者：海老原哲男 理学研究科生命理学専攻博士課程前期課程1年) / 正課外活動(その他)・社会への貢献活動 「サイエンスをもっと身近に」をコンセプトに科学コミュニケーション活動を行い、サイエンスの魅力を幅広い世代に伝えてきたことが、社会への貢献活動として高く評価されたこと



伝言板

メールアドレス登録についてのお願い

教育推進部基盤運営課

本学では、災害時の連絡を含め、大学からの緊急・重要な連絡に電子メールを活用しています。

緊急時の連絡を徹底するためには、全構成員の登録が必要となりますので、趣旨・使用目的をご理解いただき、名古屋大学ポータル(MyNU)よりメールアドレスを入力してください。なお、すでにメールアドレスを登録された方は、登録されたメールアドレスに誤りがないか確認いただき、メールアドレスの変更があった場合には、再度入力をお願いします。

【※登録されたメールアドレスの使用目的】

- ・情報セキュリティ・インシデントに関する緊急・重要事項の連絡及び対応の要請
- ・大学の管理・運営等に係る緊急・重要事項の連絡
- ・災害発生時の安否確認に関する連絡

美術館・博物館の無料入館

教育推進部基盤運営課

本学は、「徳川美術館(蓬左文庫含む)」、「名古屋ボストン美術館」、「名古屋市博物館」及び「名古屋市美術館」の大学メンバーシップ等の制度に加入しています。

この制度は、本学学生(学部学生、大学院生の正規学生の他、研究生、聴講生等の学生証を所持する非正規生を含む)であれば、学生証を入場の際に提示することにより、在学中に何度でも無料で入館できる制度です(一

部有料展示会等を除く)。学修や研究活動の合間に、美術鑑賞はいかがでしょうか。

詳しい展示内容や無料となる範囲等、詳細はそれぞれの施設のホームページで確認できる他、学内では学生向け掲示板に企画展等のポスターも掲示しています。

ゴミ出しマナーはルールを守って

教育推進部教育企画課

名古屋市では、各家庭から排出されるゴミは、種類毎に分別し、指定された曜日・時間・場所に出すことになっています。

名古屋市内で下宿生活を送っている学生は、地域の一員としてこのゴミ出しルールに従い、ルールとマナーを守ってゴミを出すようにしてください。

分別していないゴミは、処理できず放置される原因にもなります。

ゴミの出し方(種類の分け方)がわからないときは、各区の環境事業所、または町内会の保健委員の方に尋ねるようにしてください。

自転車の盗難防止・走行上の注意について

教育推進部教育企画課

学内において、自転車盗難の犯罪が増加しています。駐輪する際は短時間であっても必ず施錠をし、鍵も二重ロック(ツーロック)にするようにしてください。自転車窃盗犯の約70%がツーロックされている自転車は盗まないとされています。

なお、当然のことですが、他人の自転車を無断で使用する行為は犯罪行為です。自転車の窃盗は、刑法第235条の「窃盗罪」であり、10年以下の懲役又は50万円以下の罰金が科せられます。警察に検挙された場合、必

ず書類送検され、さらに、本学からは学則に基づき懲戒処分が課せられることがあります。絶対に行わないでください。

また、自転車走行上の注意として、東山キャンパス周辺は、坂の多い地形ですので、特に下り坂でのスピードの出し過ぎや一時停止の無視等により、歩行者や他の車両との事故を起こさないよう、十分に注意してください。たとえ自転車でも、歩行者に接触すると命に関わる大事故につながるかねません。周囲に配慮した、優しい走行を心がけてください。

飲酒に関する注意喚起

教育推進部教育企画課

未成年者の飲酒は法律で禁止されています。未成年者が飲酒をしないことは当然のことですが、相手が未成年者と知りながら飲酒を勧めることはしないでください。

また、度を過ぎた飲酒は、命を落とす危険な行為です。イッキ飲みによ

る飲酒の強要や酒量を競うことはしないでください。

なお、飲酒運転は重大な犯罪です。車、バイクだけではなく、自転車も含め、飲酒運転は絶対にしないでください。

学生のみなさんは、法令を遵守し、節度ある行動を心がけてください。

薬物に関する注意喚起

教育推進部教育企画課

昨今、大学生による大麻をはじめとする薬物事件が、新聞等でも大きく報道されています。

軽い気持ちや興味本位で禁止薬物に手を出してしまうと、自分の人生において取り返しのつかない事態に追い込まれます。罪の重さを後悔しても、

罪を消し去ることはできません。

学生のみなさんは、法令を遵守し、絶対に禁止薬物に手を出すことがないようにしてください。

宗教団体等への注意喚起

教育推進部教育企画課

学校内で強引な勧誘を行う宗教団体や、「自主的なサークル」を装って本学の活動目的を伝えず学生を勧誘する宗教団体などに対する注意喚起については、学生生活ガイダンスや掲示物等でも周知していますが、素性のよくわからない相手に対して、安易に携帯電話の番号などの個人情報伝えることのないように注意してください。

また、学生のみなさんが少しでも不安や疑問を感じた場合は、教育推進部又は各学部・研究科の教務担当係や学生相談総合センターに相談してください。

無用なトラブルに巻き込まれないよう、無用な勧誘はきっぱりと断るようしてください。

マルチ商法等に注意

教育推進部学生支援課

学生を狙った悪徳商法が多発しています。マルチ商法等みなさんが陥りやすい消費者トラブルの事例は名古屋大学学生便覧に記載してあります。不要なものはその場ではっきり断ることが大切ですが、契約してしまった後で解約したいときはクーリングオフ制度がありますので、なるべく早く消費者相談窓口で相談してください。

消費生活情報あいち暮らしWEB

<http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsu/>

県消費生活総合センター

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2 自治センター1階

TEL: 052-962-0999

災害対策

◆ 災害発生時刻

今年の4月14日、16日に熊本県で震度7を記録する大地震が連続して発生しました。住宅の倒壊により大学生の犠牲者も出ています。2回とも夜間に起こったため自宅で被災した人が多数になりました。このように災害が発生する時刻によって被害状況やその後の対応は大きく変わります。また曜日や季節の影響もあり、特に入試や卒業に関係する時期は重要です。いつ、どのような災害が起こるか、いろいろなケースを想定して対策を行うことが必要です。

◆ 防災訓練×2

名古屋大学では毎年2回、前期と後期に全学防災訓練を行っています。春には学生や教職員が入れ替わりますので、前期訓練では基本的な防災体制や設備のチェック、火災を想定した避難、安否確認システムの利用訓練などを行います。これはあらゆる災害発生に対応した基礎的な訓練です。後期には、授業時間中に大きな地震が発生したとして、多数の学生・教職員が学内にいる状況で全学一斉の避難訓練を行います。

◆ 前期防災訓練の結果

今年は5月26日(木)12:00に全学一斉放送、そのあと安否確認訓練を行いました。安否確認システムは、全員が緊急連絡用メールアドレスをあらかじめ登録しておき、非常時に大学から届いたメールに対応して自分の状況を入力するものです。クラウドを利用して、災害時でもできる限り機能するようになっています。今回の訓練では全学で2万5千人以上の学生・教職員について、75%にあたる1万9千人が確認できました。特に1年生の確認率は85%になっています。後期の訓練でも安否確認システムを使いますので、全員が入力してください。

このようなシステムは特に夜間や休日に関わらず、学外にいる大勢の安否を確認するのに有効です。そのほかに今年の訓練では、早朝に大地震が発生したとして、総長を中心とする災害対策本部が大学に駆けつける訓練も行いました。

◆ 後期の地震防災訓練

10月28日(金)11:30から行います。災害時には、まず緊急地震速報を聞き、強い揺れから身を守る行動(安全姿勢)をします。次に教員の指示・誘導に従って、各建物の周辺で指定された場所に安全に避難し、全員の無事を確認します。そのあと家に帰れるかどうかは災害状況を確認して判断します。以上の具体的な行動は大震災行動マニュアル(名刺サイズに折りたたまれた黄色の資料)に書かれています。このマニュアルの中の避難者確認カード(2枚)に名前や学生番号などを記入して、いつも持ち歩きましょう。訓練や本当の災害の時はこのカードを提出し、安否確認に使用します。安否確認システムとカードの全く違う方法を準備することで、様々な状況に対応します。

防災訓練の内容について、その意味も考えながら参加すれば一層効果が上がります。これから後期訓練までの3か月間、興味をもって準備してください。

詳しくは災害対策室および減災連携研究センターのホームページなどをご覧ください。



伝言板(2)

学生住居・家庭教師の斡旋・紹介及びアルバイトの情報提供

教育推進部学生支援課

それぞれ、次により斡旋・情報提供をしています。

1.住まいの斡旋

名古屋大学消費生活協同組合
(Tel.788-7875)

2.アルバイトの求人情報

- 1) 家庭教師の斡旋・紹介…名古屋大学消費生活協同組合
(Tel.781-1111)
- 2) 一般アルバイト…学生アルバイト情報ネットワーク事務求人サービスで情報提供しています。
<http://www.aines.net/nagoya-u/>

国民年金の学生納付特例制度について

教育推進部学生支援課

20歳になったら必ず国民年金に加入し、保険料を納めることが法律で義務づけられています。しかし、学生の在学期間中は所得がありませんので、保険料納付が困難な場合があります。このことから、在学期間中の保険料が後払いできる学生納付特例制度があります。

学生納付特例制度は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料が後払いできる制度で、この特例の承認を受けると、学生納付特例期間中の障害などといった不慮の事故には、満額の年金が支給されます。

<http://www.nenkin.go.jp/service/kokunen/menjo/>